

地域整備方針

(さいたま市)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
大宮駅周辺地域	<p>〔都市再生緊急整備地域〕</p> <p>東北圏・北陸圏・北海道と繋がる交通結節点として、駅前広場や歩行者空間の拡充とともに、大宮駅の機能高度化により、交通機関相互の結節機能を強化</p> <p>また、交通結節点としての利便性や多様な地域資源を活かした新たなイノベーションの創出を目指した、東日本の対流拠点にふさわしい魅力と賑わいを備えた都市空間を形成</p> <p>これらの整備と合わせ、狭隘な道路や老朽化建物を更新することにより、防災性を強化し、災害に強い強靱な都市基盤を形成</p>	<p>○東日本連携を促進させ、イノベーションの創出を誘発する、オフィス・ホテル・会議室等の都市機能の集積</p> <p>○交通ターミナルとして、歩行者中心の移動環境及び、ゆとりある駅前空間の創出等により、交通結節機能を強化</p> <p>○狭隘な道路や老朽化建物の更新と併せて街区再編や災害時対策の推進による防災機能の強化</p> <p>○公共施設の再編による大規模な土地活用により、都市機能を強化</p>	<p>○駅周辺の賑わい創出のため、周辺市街地の再編に併せ、交流空間や、回遊性・利便性向上のための歩行者ネットワークを創出</p> <p>○駅機能高度化を図るため、鉄道相互間の乗り換え利便性向上に向けた駅改良や、回遊性・防災性強化に向けた東西通路を確保</p> <p>○ユニバーサルデザインに配慮した、安心・安全、便利・快適な駅、及び駅前空間を整備</p> <p>○駅周辺における自動車の混雑緩和のため、ハード・ソフト両面から自動車ネットワークの再構築を図る施策等を導入</p>	<p>○駅及び駅周辺街区では、東日本の玄関口にふさわしい駅前景観と沿道ごとの特色を活かした、都市空間の誘導</p> <p>○駅周辺において公共施設と建築物との一体的な整備等による都市開発事業の促進</p> <p>○都市開発事業における敷地内緑化・屋上緑化などヒートアイランド対策を誘導</p> <p>○都市開発事業における建築物等の高断熱化・省エネルギー化等により地球温暖化対策を誘導</p> <p>○都市開発事業において、未利用エネルギーの活用、自立分散型かつ高効率なエネルギーシステムの導入を誘導</p> <p>○大規模災害発生時における駅周辺の滞留者等の安全確保に資する退避施設、備蓄倉庫、情報伝達施設等の整備を推進</p> <p>○官民連携による賑わいの創出やまちの持続性、防犯対策等に繋がるエリアマネジメントの導入</p>

地域整備方針

(常滑市)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
<p>中部国際空港東・常滑りんくう地域</p>	<p>〔都市再生緊急整備地域〕</p> <p>国際拠点空港である中部国際空港が立地する空港島及び空港対岸部のりんくう地域において、2020年の東京オリンピック・パラリンピック、2026年のアジア競技大会、2027年度のリニア開業を見据え、空港の立地特性を生かし、国内外から人・モノ・カネ・情報を呼び込む国際交流拠点を形成</p>	<p>(空港東地域)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 増加するインバウンド等に対応する国際ゲートウェイ機能の強化 ○ 国内外との優れたアクセス環境や愛知・中部の圧倒的なモノづくりの集積を生かし、国内外の多様な技能・技術を有する企業・人材等の交流により、新産業の創出、既存産業の高度化へと繋げるMICE機能の強化 ○ 国際交流拠点として、都市の魅力の向上と賑わいの空間を創出する商業・業務、文化・レクリエーション、滞在・宿泊、情報発信など、多様な都市機能の強化 ○ 日本の空港で唯一の総合保税地域や超大型貨物輸送に対応可能な港湾機能を生かした、我が国のものづくりを支える国際物流機能の強化 ○ 大規模災害時等に対応できる都市防災機能の強化 	<p>(空港東地域)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 空港・鉄道駅・各交流拠点施設との回遊性を高めるとともに、災害時の避難経路としても活用できる安全・快適な歩行者ネットワークの形成 ○ 公共交通の結節点としての乗換利便性の向上 ○ 空港島への交通アクセスの向上及び空港島と空港対岸部の一体性を高める交通ネットワークの強化 	<p>(空港東地域)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国内外との優れたアクセス環境や愛知・中部の圧倒的なモノづくりの集積を生かし、さらなる人・モノ・カネ・情報の活発な交流に資する都市開発事業を促進 ○ 都市開発事業において、災害時における避難誘導路や退避施設、備蓄倉庫などの整備による滞留者・帰宅困難者対策を促進 ○ 太陽光発電等の再生可能エネルギーや水素エネルギーの利活用等による低炭素なまちづくりを促進 ○ 来訪者の利便性を高め、交流拠点性を強化するため、無料公衆無線LAN（フリーWi-Fi）の整備等によるインターネット接続環境の強化・充実 ○ 官民連携のエリアマネジメントによるまちづくりの推進

		<p>(りんくう地域)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中部臨空都市において、既存の大規模商業施設を核として、商業・業務、文化・レクリエーション、滞在・宿泊等の機能の充実を図り、周辺の水辺環境とも調和した潤いある魅力的な賑わい空間を創出 ○ 既存市街地において、適切な土地利用転換により新たな都市機能を導入し、中部臨空都市と共生する複合市街地を形成 ○ 大規模災害時等に対応できる都市防災機能の強化 	<p>(りんくう地域)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 親水空間や公園・緑地等の整備による潤いある快適な町並み景観の形成 ○ 空港島からの交通アクセスの向上及び空港島と空港対岸部の一体性を高める交通ネットワークの強化 	<p>(りんくう地域)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 遊休地等の土地利用転換を推進し、国際交流拠点にふさわしい都市機能を導入 ○ 国内外との優れたアクセス環境や愛知・中部の圧倒的なモノづくりの集積を生かし、さらなる人・モノ・カネ・情報の活発な交流に資する都市開発事業を促進 ○ 都市開発事業において、災害時における防災行政無線等による避難誘導や退避施設の確保などによる滞留者・帰宅困難者対策を促進 ○ 官民連携のエリアマネジメントによるまちづくりの推進
--	--	---	---	--

地域整備方針

(東京都)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
<p>東京都心・臨海地域</p>	<p>〔都市再生緊急整備地域〕 日本の経済を牽引する高次の中核業務機能のほか、商業、居住、文化、交流など多様な都市機能の集積と、主要幹線道路等の整備による都市基盤の強化を通じて、国際的なビジネス機能等を備えた拠点としてふさわしい景観にも配慮した賑わいと魅力のある都市空間を形成</p> <p>(大手町、丸の内、有楽町) 東京都心において、我が国の顔として、歴史と文化を活かしたうおいと風格ある街並みを形成しつつ、高次の業務機能とそれを支える高度な支援機能を備えた金融をはじめとする国際的な中核業務・交流拠点を形成 この際、併せて、商業・文化・交流などの多様な機能を導入することにより、にぎわいと回遊性のある都市空間を形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○国際金融をはじめとする中核業務拠点にふさわしい高次の業務機能とこれを支える商業・文化機能等多様な機能の導入 <ul style="list-style-type: none"> ・高次の業務機能と、高度な専門性を有する業務支援機能の強化 ・業務機能を支え、アメニティを高める商業・文化・交流・宿泊機能等を強化 ・業務機能を支える人材育成・就業者支援・情報通信拠点機能を強化 ○国際化に対応した、教育・医療・情報提供・カンファレンス・滞在型宿泊機能等を誘導 ○成田・羽田空港と直結する交通拠点機能の強化 ○震災等に対応できる都市防災機能の強化 この際、人口・機能等が特に集積する大規模ターミナル駅周辺において都市防災機能の一層の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○東京駅周辺において、東京駅舎を保存・復元するとともに、駅前広場や街路等を整備することにより、東京の顔にふさわしい景観を確保するとともに、交通利便性を向上 <ul style="list-style-type: none"> ・丸の内側については、駅前広場の整備や行幸通りの景観整備により、我が国の顔となる空間を形成 ・丸の内通りの機能を延伸し、にぎわいの創出と回遊性を確保 ・駅周辺の回遊性を高めるため地上・地下の歩行者ネットワークを充実・強化 ・八重洲側については、駅前広場を再整備 ○大都市における環境の再生のモデルとして、日本橋川の再生を検討 この際、あわせて首都高速道路のあり方を検討 ○その他、以下を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・建築物の更新により整備される敷地内空地や地下歩道などのネットワーク化等により安全・快適な歩行者空間を確保 ・大手町、丸の内、有楽町地域の駐車場について、公共と民間、民間相互の連携などにより、効率的なネットワーク化を地域において検討 ・公共的空地の確保や道路沿道の緑化、保水性舗装などの実施によりヒートアイランド現象の緩和に寄与 ・国際金融拠点にふさわしい多言語標記サイン等の充実 ・エネルギーネットワークを始め、供給処理施設の機能更新及び強化により、発災時にも自立した機能を確保 	<ul style="list-style-type: none"> ○丸の内の仲通りに面した地域などにおいては、通りに面した壁面の位置や高さを整えるなどにより、風格ある街並みの形成に資する都市開発事業を促進 ○国際的なビジネスセンターにふさわしい拠点性と象徴性を備えた国際競争力の強化に資する景観形成にも配慮した都市開発事業を促進 ○東京駅などの未利用の容積を活用しつつ、用途の配置や容積の配分を適正に行うことにより、メリハリのある高度利用を実現 ○日本橋川の沿川においては、水辺環境を生かした都市開発事業を促進 ○都市開発事業における敷地内緑化・屋上緑化・壁面緑化や排熱抑制などヒートアイランド対策を誘導 ○地区継続計画の作成や防災施設整備等の推進 ○地域主体のエリアマネジメント組織等による公的空間の管理・運営により地域の活性化を推進 ○都市開発事業における建築物等の高断熱化・省エネルギー化等により地球温暖化対策を誘導 ○都市開発事業において、自立・分散かつ効率的なエネルギーシステムの導入を誘導

(日本橋、八重洲、銀座、兜町、茅場町、八丁堀)
東京都心や周辺部において、老朽建築物の機能更新や土地の集約化等により、歴史と文化を生かしたうまいと風格ある街並みを形成しつつ、国際的な業務・金融・商業機能や高度な業務支援機能・生活支援機能等が適切に調和した魅力ある複合機能集積地を形成
特に、中央通りを中心とした地域においては、魅力とにぎわいにあふれた国際的な商業・観光拠点を形成

○業務・金融・商業機能等を高度化と、これらを支える多様な機能の導入と居住・宿泊機能等を強化
・建築物の低層階に商業・文化・交流機能等の導入により商業機能を強化
・高度な専門性を有する業務支援機能の強化
・業務・商業機能との調和に配慮した居住・宿泊機能等の強化を促進

○国際化に対応した、教育・医療・情報提供・カンファレンス・滞在型宿泊機能等を誘導

○震災等に対応できる都市防災機能の強化
この際、人口・機能等が特に集積する大規模ターミナル駅周辺において都市防災機能の一層の充実

○東京駅周辺において、東京駅舎を保存・復元するとともに、駅前広場や街路等を整備することにより、東京の顔にふさわしい景観を確保するとともに、交通利便性を向上
・駅周辺の回遊性を高めるため地上・地下の歩行者ネットワークを充実・強化

○東京駅前地域の再開発と連携したバスターミナルの整備や都営浅草線東京駅接着の検討などによる空港アクセスの強化

○大都市における環境の再生のモデルとして、日本橋川の再生を検討
この際、あわせて首都高速道路のあり方を検討

○その他、以下を実施

- ・建築物の更新により整備される敷地内空地や地下歩道などのネットワーク化等により安全・快適な歩行者空間を確保
- ・銀座地域や東京駅前地域において、駐車場や荷さばき場の集約的な整備を地域において検討
- ・公共の空地の確保や道路沿道の緑化、保水性舗装などの実施によりヒートアイランド現象の緩和に寄与
- ・国際金融拠点にふさわしい多言語標記サイン等の充実
- ・市街地の更新にあたり、公共公益施設の整備状況とバランスのとれた計画的な開発を誘導するとともに、特に八丁堀駅周辺では、必要となる公共公益施設を再編及び充実

○都市機能が集積しエネルギーを高密度で消費する拠点地区において、複数街区にまたがる面的ネットワークの整備によるエネルギーの自立化・多重化など、地域特性に応じた災害時の業務機能などの継続に資する整備を誘導

○大規模災害発生時におけるターミナル駅周辺の滞留者等の安全確保に資する退避施設、備蓄倉庫、情報伝達施設等の整備を推進

○八重洲の外堀通り等に面した地域においては、交通基盤の強化の連携などにより、東京の玄関口に相応しい都市開発事業を促進

○国際的なビジネスセンターにふさわしい拠点性と象徴性を備えた国際競争力の強化に資する景観形成にも配慮した都市開発事業を促進

○銀座の中央通り等に面した地域などにおいては、通りに面した壁面の位置や高さを整えるなどにより、歩行者空間の充実と、魅力ある商業空間の形成を図る都市開発事業を促進

○歴史的建造物の機能更新等に当たっては、これを生かした都市開発事業を促進

○日本橋川の沿川においては、水辺環境を生かした都市開発事業を促進

○都市開発事業における敷地内緑化・屋上緑化・壁面緑化などヒートアイランド対策を誘導

○都市開発事業における建築物等の高断熱化・省エネルギー化等により地球温暖化対策を誘導

○都市開発事業において、自立・分散型かつ効率的なエネルギーシステムの導入を誘導

○都市機能が集積しエネルギーを高密度で消費する拠点地区において、複数街区にまたがる面的ネットワークの整備によるエネルギー

(日比谷)

東京都心において、文化・交流機能の集積や隣接する日比谷公園の環境を活かし、多様な機能が複合した風格とにぎわいのある都心拠点を形成併せて、周辺エリアとつながる緑豊かな回遊拠点を形成

- 文化・芸術機能や迎賓・交流機能の歴史と集積を活かした、文化・交流機能の強化
- まちなぎわいを創出する、飲食・物販機能やイベント機能等の導入
- 中枢業務機能、国際金融機能、国際カンファレンス機能、情報通信拠点機能、高次なインフラ機能などの更新・強化
- 隣接する日比谷公園を活かした緑やうらおいの充実
- 震災等に対応できる都市防災機能の強化

○日比谷地域において、回遊性の向上を図る歩行者ネットワークの強化や地域の顔となる魅力的な公園、JRや地下鉄の駅と隣接した広場空間の整備を検討

ギーの自立化・多重化など、地域特性に応じた災害時の業務機能などの継続に資する整備を誘導

○地域の特性を生かしたエリアマネジメントにより、地域が主体となって、まちなぎわいや魅力を創出

○大規模災害発生時におけるターミナル駅周辺の滞留者等の安全確保に資する退避施設、備蓄倉庫、情報伝達施設等の整備を推進

○隣接する日比谷公園や周辺エリアとの回遊性の向上、緑豊かな広場等の整備、多様な機能の導入等による魅力ある都市空間の形成に資する都市開発事業を促進

○国際的なビジネスセンターにふさわしい拠点性と象徴性を備えた国際競争力の強化に資する景観形成にも配慮した都市開発事業を促進

○都市開発事業における敷地内緑化・屋上緑化・壁面緑化や排熱抑制などヒートアイランド対策を誘導

○都市開発事業における建築物等の高断熱化・省エネルギー化等により地球温暖化対策を誘導

○都市開発事業において、自立・分散型かつ効率的なエネルギーシステムの導入を誘導

○都市機能が集積しエネルギーを高密度で消費する拠点地区において、複数街区にまたがる面的ネットワークの整備によるエネルギーの自立化・多重化など、地域特性に応じた災害時の業務機能などの継続に資する整備を誘導

○都市開発事業において、備蓄倉庫の設置や一時滞留可能な空間を確保することにより、帰宅困難者対策を誘導

○隣接する日比谷公園と連携した地区継続計画の作成や防災施設整備等の推進

(環状二号線新橋周辺・赤坂・六本木)

中央官庁街に近接し、大使館等が数多く立地する地域において、環状2号線の整備とその沿道土地利用の促進を図るとともに、国際金融・業務・商業・文化・交流機能や生活・業務支援機能など多様な機能を備えたにぎわいにあふれた国際性豊かな交流ゾーンを形成
この際、緑豊かな地域特性を生かしたうるおいのある都市空間を形成

また、浜松町駅より海側の地域においては、地域の資源である浜離宮恩賜庭園、旧芝離宮恩賜庭園や海を意識しながら景観や環境にも配慮しつつ、内外の企業が魅力を感じられる国際競争力の高いビジネス拠点を形成

○良好な住環境を備えた居住機能のほか、国際金融をはじめとする業務・商業・文化・交流・宿泊等の多様な機能の誘導及び高度な専門性を有する業務支援機能の強化

○国際化に対応した、教育・医療・情報提供・MICE・カンファレンス・滞在型宿泊機能等を誘導

○新橋駅周辺の交通結節機能の強化

○国際化に対応した浜松町駅周辺の交通結節機能の強化及びバリアフリーネットワークの強化

○震災等に対応できる都市防災機能の強化

○環状2号線、環状3号線等の整備による広域的な交通利便性を向上

○国際化に対応した浜松町駅周辺開発にあわせ、東京モノレール浜松町駅の改良やバスターミナル再整備などによる交通結節機能の強化及び歩行者ネットワークの強化

○環状2号線周辺においては、道路と沿道が一体となって風の道となる空間を確保し、快適で魅力的な街並みを形成

○道路や敷地内通路等の連携による地上・地下の重層的な歩行者ネットワーク等の充実や、駅や周辺の開発に併せた交通結節機能の強化

○その他、以下を実施

- ・都市開発事業に関連した道路整備により、地域内道路網を強化
- ・環状2号線周辺地区において、駐車施設の集約的な整備を地域において検討
- ・まとまった公共的空地の確保・緑化や保水性舗装などの実施によりヒートアイランド現象の緩和に寄与
- ・国際金融拠点にふさわしい多言語標記サイン等の充実

○地域主体のエリアマネジメント組織等による公的空間の管理・運営により地域の活性化を推進

○環状3号線と補助4号線にはさまれた区域(補助2号線の西側)及び赤坂地区・六本木地区における良好な住環境を備えた区域においては、周辺市街地との環境に十分調和するよう配慮した都市開発事業を促進

○国際的なビジネスセンターにふさわしい拠点性と象徴性を備えた国際競争力の強化に資する景観形成にも配慮した都市開発事業を促進

○環状2号線周辺の土地利用の更新にあわせ、細分化した街区の再編による大街区化を誘導し、緑豊かなオープンスペースや機能的な道路空間を創出

○都市開発事業における敷地内緑化・屋上緑化・壁面緑化などヒートアイランド対策を誘導

○六本木地区においては、防犯対策とまちづくりの取組の連携協働により、魅力ある繁華街の再生を促進
また、学校、国際交流施設等の地区独自の文化性、国際性に富んだ資源を活用

○地域の特性を生かしたエリアマネジメントにより、地域が主体となって、まちのにぎわいや魅力を創出

○浜松町駅周辺においては、竹芝地区をはじめ、エリアマネジメントとの連携も図りつつ、防災性の向上やエネルギー対策を推進

○また、浜松町駅から竹芝ふ頭に至る歩行者動線の強化や緑の創出・ネットワークの充実を図り、地区内の回遊性の向上や小笠原及び伊豆七島への玄関口としてふさわしい景観を形成

○都市開発事業における建築物等の高断熱化・省エネルギー化等により地球温暖化対策を誘導

(晴海、豊洲、有明北、有明南、台場、青海、東雲)
都心に近接し、陸・海・空の卓越した交通条件にある東京臨海部において、物流機能の転出等に伴い発生した低未利用地の大規模な土地利用転換等により、職・住・学・遊の多様な魅力を備え国際的に情報発信を行う先導的な拠点を形成
この際、水辺の環境をいかしてアミューズメント・文化・商業などの機能を導入し、都市観光にも資するバランスのとれた魅力的な複合市街地を形成

○職・住・学・遊の多様な機能の複合市街地の形成

○この際、新しい産業の育成など先導的な機能を導入
・大学や研究所などと連携した次世代型の産業・業務・情報機能等の導入
・港湾機能や優れた空港アクセス機能を活かした首都圏の物流・交通拠点機能の強化
・魅力とにぎわいを創出するアミューズメント、文化、商業、交流機能の導入
・都心との近接性や水辺環境を活かした居住機能の導入

○震災等に対応できる都市防災機能の強化

○国際的に情報発信を行う先導的な拠点として、MICE機能の更なる強化により、ビジネスや観光等の都市機能を充実

○東京都心部へのアクセス機能等の強化など広域的な交通利便性を向上するための幹線道路や公共交通を整備
(幹線道路)
・環状2号線の整備
・首都高速道路晴海線の整備
・国道357号(東京港トンネル)の整備等(公共交通機関)
・水上交通ネットワークの形成の検討

○さらに、中長期的には、民間の開発状況や広域的な交通ネットワークの形成等を勘案しつつ、需要に応じた交通基盤の整備について検討
・地下鉄8号線の延伸を検討

○豊洲新市場の整備

○防災機能の強化
・外郭堤防、水門の耐震化など、当該地域における防災施設の整備促進

○大規模土地利用転換にあたり、公共公益施設の整備状況とバランスのとれた計画的な開発を誘導するとともに、居住機能の配置に伴い必要となる教育・福祉等の生活関連の公共公益施設を整備

○その他、以下を実施
・水際の遊歩道や歩道状空地等の確保による親水性のある歩行者ネットワークを形成
・公共的空地の確保や保水性舗装などの実施

○都市開発事業において、自立・分散型かつ効率的なエネルギーシステムの導入を誘導

○都市機能が集積しエネルギーを高密度で消費する拠点地区において、複数街区にまたがる面的ネットワークの整備によるエネルギーの自立化・多重化など、地域特性に応じた災害時の業務機能などの継続に資する整備を誘導

○都市開発事業において、備蓄倉庫の設置や一時滞留可能な空間を確保することにより、帰宅困難者対策を誘導

○計画的なまちづくりに配慮しつつ、暫定的な土地利用への柔軟な対応の促進

○地域の市街地像を共有化し、一体的かつ総合的に都市開発事業を促進

○都市開発事業における敷地内緑化・屋上緑化・壁面緑化などヒートアイランド対策を誘導

○豊洲埠頭地区において、まちづくりと一体となったエネルギーの面的利用の推進や再生エネルギー・未利用エネルギーの活用など、最先端技術の導入による低炭素社会を誘導

○都市開発事業における建築物等の高断熱化・省エネルギー化等により地球温暖化対策を誘導

○都市開発事業において、自立・分散型かつ効率的なエネルギーシステムの導入を誘導

○都市機能が集積しエネルギーを高密度で消費する拠点地区において、複数街区にまたがる面的ネットワークの整備によるエネルギーの自立化・多重化など、地域特性に応じた災害時の業務機能などの継続に資する整備を誘導

○都市開発事業において、備蓄倉庫の設置や一時滞留可能な空間を確保することにより

(佃、月島、勝どき、豊海、湊、入船、新富、明石町、築地)
個性を生かしたまちづくりと計画的な大規模開発による機能更新により、都心を支える居住機能を強化した魅力的な複合市街地を形成

- 良好な居住機能を強化しつつ、あわせて、業務・商業・文化・交流機能の導入による複合市街地を形成
 - ・都心との近接性や水辺環境を活かした居住機能の強化
 - ・魅力とにぎわいを創出する業務・商業・文化・交流機能等の導入による複合的な都市機能を強化

- 震災等に対応できる都市防災機能の強化

によりヒートアイランド現象の緩和に寄与

- 東京都心部へのアクセス機能等の強化など広域的な交通利便性を向上するための幹線道路や公共交通を整備(幹線道路)
 - ・環状2号線の整備(公共交通機関)
 - ・水上交通ネットワークの形成の検討
- さらに、中長期的には、民間の開発状況や広域的な交通ネットワークの形成等を勘案しつつ、需要に応じた交通基盤の整備について検討
- 防災機能の強化
 - ・外郭堤防、水門の耐震化、隅田川のスーパー堤防の整備など、当該地域における防災施設の整備促進
- 大規模土地利用転換にあたり、公共公益施設の整備状況とバランスのとれた計画的な開発を誘導するとともに、居住機能の配置に伴い必要となる教育・福祉等の生活関連の公共公益施設を整備
- その他、以下を実施
 - ・水際の遊歩道や歩道状空地等の確保による親水性のある歩行者ネットワークを形成
 - ・公共的空地の確保や保水性舗装などの実施によりヒートアイランド現象の緩和に寄与

り、帰宅困難者対策を誘導

- M I C E機能の拡充による国際的なビジネス交流拠点の形成や、アフターコンベンション機能の更なる拡充に資する都市開発事業を促進
- 地域の特性を生かしたエリアマネジメントにより、地域が主体となって、まちのにぎわいや魅力を創出
- 密集市街地においては、従前居住者の居住の確保や周辺市街地の都市環境との調和などに十分配慮する都市開発事業を促進
- 月島地区などにおいては、良好な街並みの形成、防災性の向上、住・商・工が調和した魅力ある市街地の形成に資する都市開発事業を促進
- 都市開発事業における敷地内緑化・屋上緑化・壁面緑化などヒートアイランド対策を誘導
- 豊洲に新市場を整備した後の築地地区を中心とした将来のまちづくりを検討
- 都市開発事業における建築物等の高断熱化・省エネルギー化等により地球温暖化対策を誘導
- 都市開発事業において、自立・分散型かつ効率的なエネルギーシステムの導入を誘導
- 都市機能が集積しエネルギーを高密度で消費する拠点地区において、複数街区にまたがる面的ネットワークの整備によるエネルギーの自立化・多重化など、地域特性に応じた災害時の業務機能などの継続に資する整備を誘導
- 都市開発事業において、備蓄倉庫の設置や一時滞留可能な空間を確保することにより、帰宅困難者対策を誘導
- 地域の特性を生かしたエリアマネジメントにより、地域が主体となって、まちのにぎ

	<p>〔特定都市再生緊急整備地域〕 日本経済の中心地である都心から臨海部の一体的な地域において、本社機能の高度な集積や国内外へのアクセス機能、国際色豊かな地域特性を生かし、国際競争力向上に資する先進的なビジネス支援機能の導入促進、外国人が住みやすい居住環境の充実などを一体的に推進</p>			わいや魅力を創出
--	--	--	--	----------

地域整備方針

(大阪市)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
<p>大阪京橋駅・大阪ビジネスパーク駅周辺・天満橋駅周辺地域</p>	<p>【都市再生緊急整備地域】 充実した交通インフラ、豊かな自然環境等の立地条件を活かし、環境への配慮や防災性の向上を図りながら、既に集積している高次都市機能のリノベーション（機能更新）を進め、魅力ある複合的な国際拠点形成 また、大阪のシンボルであり、本市の経済成長戦略上、観光戦略上重要な拠点でもある大阪城公園の魅力の向上の取り組みと併せ、にぎわい創出を図り、大阪城公園の玄関口としても魅力ある複合的な国際拠点を形成 大阪都心部最大級のみどりがあり、国際観光拠点である大阪城公園に隣接した交通ターミナルとして、観光客など来訪者の誘致や滞在を促進する複合的な都市機能の集積を図り、関西広域の観光資源を繋ぐハブ拠点を形成</p>	<p>(大阪ビジネスパーク駅周辺) ○大阪城公園の活性化に向けた取り組みと連携し、地区の環境への配慮や防災性の向上を図りながら、国際的な業務・商業機能の充実・強化 ○併せて、来訪者などにとってにぎわいと魅力が感じられる空間の形成を図り、上記と一体となって複合的な国際拠点機能を形成</p> <p>(天満橋駅周辺) ○業務・商業機能の集積を活かしながら、大阪城公園の玄関口にふさわしい観光拠点機能を強化 ○併せて、耐震性の向上など防災性の向上や、環境への配慮を図りながら、土地の高度利用を促進し、業務・商業機能や学術機能等を充実・強化</p> <p>(京橋駅周辺) ○地下鉄・京阪・JRの3駅で一日に約50万人が行き交うターミナル駅にふさわしい基幹商業機能のさらなる強化 ○国際観光拠点としての商業機能の強化と共に、大阪城・OBPと連携した観光サポート機能の強化を図り、高質な宿泊機能の導入等による駅前のポテンシャルを向上</p>	<p>○ターミナル駅である京橋駅と大阪城公園との緊密な連携を確保するため、建物低層部、公開空地、道路等を活用した、連続性のあるにぎわい豊かな歩行者空間を整備 ○河川に囲まれた地区として水辺空間の親水性を向上させるためのにぎわい空間の整備</p> <p>○ターミナル駅である天満橋駅と大阪城公園の間の回遊性・利便性を高め、地区のにぎわいを創出するため、バスターミナル改修等に合わせ、円滑な移動のための通路、広場等の歩行者空間の整備 ○親水性を向上し歩行者ネットワークを形成するための大川の河川沿いの歩行者空間を整備</p> <p>○ターミナル駅としてふさわしい駅利用者の利便性向上に資する交通結節点としての機能整備 ○駅間や大阪ビジネスパークとの安全で快適な歩行者ネットワークを形成するため立体的な歩行者空間を整備 ○観光客のアクセス性の改善や公共空間のにぎわい創出等を通じた国際観光拠点としてのターミナル駅の機能拡充</p>	<p>○国際水準のオフィス環境を整備するとともに、最新の低炭素技術の導入や、太陽光や河川水、風力といった新エネルギーを活用した地域エネルギーシステムの導入など、環境に配慮したまちづくりを促進 ○地域の事業継続性の確保のための取り組みの推進による災害に強いまちづくりの促進</p> <p>○水辺空間、公開空地等の再整備や歴史・景観資源の活用による地域全体の回遊性・利便性の向上、及び観光拠点機能の充実 ○官民連携の防災体制づくりなど、地域の事業継続性の確保のための取り組みの推進による災害に強いまちづくりの促進</p> <p>○地域の事業継続性確保のための取り組み推進、大阪城公園や大阪ビジネスパーク地区との連携による災害に強いまちづくりの促進 ○大規模災害発生時におけるターミナル駅周辺の滞留者等の安全確保に資する待避施設等の整備を推進</p>

地域整備方針

(東京都)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
品川駅・田町駅周辺地域	<p>[都市再生緊急整備地域]</p> <p>○品川駅を中心とした鉄道施設の機能更新や駅前広場・歩行者空間などの都市基盤整備により、広域交通の拠点性を強化し、東京と国内外を結ぶサウスゲートにふさわしい交通結節点を形成</p> <p>○品川駅周辺では、新幹線や羽田空港などへのアクセスの利便性、臨海部、東京南部の産業とも連携可能な立地特性や、運河などの地域資源を生かし、業務、商業、研究、交流、宿泊、居住などの多様な機能が集積する、新拠点を形成</p> <p>○東京湾からの「風の道」の確保や、大規模公園、緑地、運河などを活用した水と緑のネットワークの形成、下水再生水や下水熱の有効利用などにより、環境負荷を軽減する先進的な環境モデル都市を形成</p> <p>○田町駅周辺の大規模な低・未利用地における業務、商業、居住、教育、文化等、多様な都市機能の整備や、既存市街地の街区再編、機能更新など、計画的な土地利用転換により、安全かつ快適な駅施設をはじめとした公共空間などの整備により、魅力的な複合市街地を形成</p>	<p>(品川)</p> <p>○広域交通における利便性の高さを活かし、国際的なビジネス機能の導入を推進</p> <p>○業務機能を支え、国際化に対応したカンファレンス・文化・交流・賑わい・宿泊機能等の誘導</p> <p>○運河、自然、文化等の地域資源を活かした居住環境の誘導</p> <p>○震災等に対応できる都市防災機能の強化</p> <p>(田町)</p> <p>○業務、商業、住居、教育、産業支援、文化、交流などの多様な機能を誘導</p> <p>○震災等に対応できる都市防災機能の強化</p>	<p>(品川)</p> <p>○鉄道で分断された地域の一体化を目指し、緊急輸送道路等に繋がる東西連絡性の強化・改善</p> <p>・環状4号線、東西連絡道路、第二東西連絡道路等の整備</p> <p>・京浜急行線品川第一踏切の解消</p> <p>○羽田空港の国際化やリニア中央新幹線の整備を契機に、乗換えの利便性向上を図るとともに、ユニバーサルデザインに配慮し、安全で快適な駅空間を形成</p> <p>・駅施設や駅前広場、歩行者デッキ等の大規模改良</p> <p>○既存の歩行者デッキや地形の高低差等に配慮した歩行者ネットワークの形成を促進</p> <p>○都市開発事業とあわせて国道15号等を整備するとともに安全で快適に回遊できる広場やデッキを整備</p> <p>○品川駅北周辺地区において、駐車場や荷さばき場の集約的な整備を地域において検討</p> <p>(田町)</p> <p>○国内外からの来街者が安全で快適に利用できる交通結節点として、東西自由通路及び駅前広場を整備</p> <p>○東西自由通路から連続する歩行者デッキ、緑豊かな歩行者空間の整備等による、歩行者ネットワークを充実・強化</p> <p>○芝浦公園の拡張・再整備</p>	<p>○都市開発事業において、建築物等の高さの制限や配置等の工夫などによる風の道の確保を誘導</p> <p>○都市開発事業における敷地内緑化・屋上緑化・壁面緑化などヒートアイランド対策を誘導</p> <p>○都市開発事業における建築物等の高断熱化・省エネルギー化等により地球温暖化対策を誘導</p> <p>○都市開発事業において、自立・分散型かつ効率的なエネルギーシステムの導入を誘導</p> <p>○都市機能が集積しエネルギーを高密度で消費する拠点地区において、複数街区にまたがる面的ネットワークの整備によるエネルギーの自立化・多重化など、地域特性に応じた災害時の業務機能などの継続に資する整備を誘導</p> <p>○都市開発事業において、備蓄倉庫の設置や一時滞留可能な空間を確保することにより、帰宅困難者対策を誘導</p> <p>○運河、自然、歴史等の特徴を活かした、地域の顔となる魅力的な景観形成に配慮した都市開発事業を誘導</p> <p>○田町駅前及び駅周辺の防災機能の確保を誘導</p> <p>○札の辻交差点西側の既存斜面緑地の保全、再生により、地域特性を生かした潤いある街並みの誘導</p>

	<p>〔特定都市再生緊急整備地域〕 羽田空港の国際化やリニア中央新幹線の整備を契機に、広域交通の拠点性を強化し、東京と国内外を結ぶサウスゲートにふさわしい交通結節点を形成し、業務、商業、研究、交流、宿泊、居住、教育、文化などの多様な機能が集積する、魅力ある新拠点を形成</p>			<p>○地域の特性を生かしたエリアマネジメントにより、地域が主体となって、まちのにぎわいや魅力を創出</p>
--	--	--	--	--

地域整備方針

(東京都)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
新宿駅周辺地域	<p>〔都市再生緊急整備地域〕 東京駅周辺などとともに我が国の国際的な中枢業務機能を担う拠点を形成併せて、商業、文化等の集積による多様な魅力を備え回遊性のある観光・交流拠点を形成</p> <p>〔特定都市再生緊急整備地域〕 乗降客数が日本一のターミナルを有し、新宿副都心として発展してきた業務・商業機能を生かし、住宅、商業、文化、教育、宿泊、医療等の集積による多様な魅力を備えた、国際的な中枢業務・交流機能を担う拠点を形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○新宿駅の駅前広場周辺においては、商業・業務機能を充実・強化 ○新宿駅周辺における歩行者交通機能の改善・強化 ○放射6号線、国道20号などの幹線道路の整備に併せた業務・商業・文化・交流・居住機能等の複合市街地形成 ○西新宿の業務地域に近接する密集市街地においては、防災機能の向上と居住機能をはじめとする複合市街地を形成 ○震災等に対応できる都市防災機能の強化 この際、人口・機能等が特に集積する大規模ターミナル駅周辺において都市防災機能の一層の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○幹線道路等の整備により広域的な交通利便性を向上 (幹線道路) 放射6号線、環状5の1号線、国道20号(新宿跨線橋の架け替え)等の整備 ○駅周辺の回遊性を高めるため、駅東西を結ぶ自由通路の整備など立体的な歩行者ネットワークを充実・強化 ○駅東側の地下通路等における災害時の安全な空間の確保を誘導 ○その他、以下を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・駅前広場など道路下の駐車場整備を地域において検討 ・都市開発事業に関連した道路整備により、地域内道路網を強化 ・公共的空地の確保や保水性舗装などの実施によりヒートアイランド現象の緩和に寄与 ・駐車場や荷さばき場の集約的な整備を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○密集市街地においては、従前居住者の居住の確保や周辺市街地の都市環境との調和などに十分配慮した都市開発事業を促進 ○新宿駅の駅前広場周辺においては、地域の顔となる魅力的な景観形成に配慮した都市開発事業を促進 ○都市開発事業における敷地内緑化・屋上緑化・壁面緑化などヒートアイランド対策を誘導 ○歌舞伎町地区においては、防犯対策とまちづくりの取組の連携協働により、魅力ある繁華街の再生を促進 ○都市開発事業における建築物等の高断熱化・省エネルギー化等により地球温暖化対策を誘導 ○都市開発事業において、自立・分散型かつ効率的なエネルギーシステムの導入を誘導 ○都市機能が集積しエネルギーを高密度で消費する拠点地区において、複数街区にまたがる面的ネットワークの整備によるエネルギーの自立化・多重化など、地域特性に応じた災害時の業務機能などの継続に資する整備を誘導 ○大規模災害発生時におけるターミナル駅周辺の滞留者等の安全確保に資する退避施設、備蓄倉庫、情報伝達施設等の整備を推進 ○地域の特性を生かしたエリアマネジメントにより、地域が主体となって、まちのにぎわいや魅力を創出

地域整備方針

(東京都)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
<p>渋谷駅周辺地域</p>	<p>〔都市再生緊急整備地域〕 特徴ある地形のもとで形成された商業・業務・文化・交流機能の集積を生かし、周辺のみどり豊かな環境と調和をとりつつ、多世代による先進的な生活文化等の世界に開かれた情報発信拠点を形成 駅施設の機能更新と再編を進めるとともに、それを契機に周辺地域での街区再編および開発の連鎖による総合的なまちづくりを推進し、駅から周辺の個性的な街へ連続する、にぎわいと回遊性のある、災害に強く、安全・安心で歩いて楽しい都市空間を形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○文化・情報発信力をさらに高め、渋谷の活力を強化させるため、様々な世代のニーズに対応し、国際的にも通用する先端的で魅力ある都市機能として、世界に開かれた文化・交流・発信機能や、クリエイティブコンテンツ産業等の先進的な業務機能、産業育成機能、賑わいを強化する商業機能等を積極的に充実・強化 ○地域の活力を継承・発展させ国際競争力の向上に寄与するため、最先端の文化や情報をリアルタイムに世界へ発信する生活文化等の情報発信機能の強化 ○ユニバーサルデザインに配慮しつつ、乗換え利便性、羽田空港との結節性の向上、ゆとりある駅前広場や歩行者空間の拡充などにより、交通結節機能を強化 ○老朽建築物の更新に合わせた街区再編や災害時対策の推進による防災機能の強化 ○国内外からの来街者の多様な活動・交流を支える観光支援・宿泊機能等の充実・強化 ○地域の活力を継承・発展させる世界に開かれた生活文化の情報発信機能の強化 ○多様で持続的な地域活動及び地域コミュニティの形成を支える居住機能と生活支援機能の強化 ○震災等に対応できる都市防災機能の強化 この際、人口・機能等が特に集積する大規模ターミナル駅周辺において都市防災機能の一層の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○駅中心地区の自動車交通の錯綜を改善し安全な歩行者空間を確保するため、ハチ公広場を含めた東西駅前広場を再編・拡充し、駐車・駐輪施設や、駐車場ネットワーク、周辺の街路を整備するとともに、周辺地域と連携した効果的な交通処理を実現する施策等を導入 ○東京メトロ副都心線と東急東横線との相互直通化及び地下化 ○乗換え利便性の向上や分かりやすい動線の確保を図るとともに、ユニバーサルデザインに配慮した安全で快適な駅空間を形成するため、銀座線等を含む駅施設の大規模改良を検討 ○地形の高低差の解消やまちの分断の改善など、地形的特性に対応した立体的な歩行者ネットワークの形成を促進 <ul style="list-style-type: none"> ・都市開発事業とあわせて駅前広場や国道246号等を活用し、駅と周辺地域をつなぐ地下広場、地下通路、デッキの整備 ・駅東西及び周辺地域を結ぶ自由通路等の整備 ・建築空間等を活用した上下移動が容易な動線の確保 ○公共的空地や道路沿道の緑化、保水性舗装などの実施により、景観づくりやヒートアイランド現象の緩和に寄与 ○地域に点在する歴史・文化資源を活かし、来街者が楽しむことができ、地域の人々と交流することができる賑わいのある公園・広場等の整備 ○駅及び駅周辺地区の基盤整備にあわせ、都市型集中豪雨対策として、雨水貯留槽整備などによる浸水・冠水対策を強化 ○都市開発事業に関連した道路整備により、 	<ul style="list-style-type: none"> ○駅中心地区において公共施設と建築物との一体的な整備等により、限られた空間に多様な機能の集積を図る都市開発事業を促進 ○駅中心地区においては、渋谷らしさを活かしながら新しい渋谷の顔となる拠点を形成するため、街の玄関口にふさわしい駅前の景観と、沿道ごとの特色を生かした個性的な街並みの形成を促進 ○建築敷地内の空地の活用や鉄道上空等の活用により、地域内の回遊性を高める歩行者ネットワークの形成を促進 ○道路や公園などのみどりの厚みを生み出し、また渋谷川などの水辺を生かした良質な空間を創出する都市開発事業を誘導し、周辺とも連動した水とみどりのネットワークを形成 ○都市開発事業間での連携のもと、災害時の避難場所として地域の防災活動を支援する広場空間や建築敷地内の溜まり空間などを創出し、災害に強いまちづくりを推進 ○周辺地域において、防犯対策とまちづくりの取組の連携協働により、魅力ある繁華街の再生を促進 ○都市開発事業における敷地内緑化、屋上緑化、壁面緑化などヒートアイランド対策を誘導 ○駅中心地区において、街区間で連携したエネルギー管理の合理化や、面的なエネルギーネットワークの形成等により、総合的なエネルギー効率の向上を図る都市開発事業を誘導し、環境負荷低減に向けた取組みを促進 ○公民連携によるエリアマネジメントの取組みや、まちの持続的・広域的な成長を発信する取組みの検討

			<p>地域内の道路網を強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○都市開発事業における建築物等の高断熱化・省エネルギー化等により地球温暖化対策を誘導 ○都市開発事業において、自立・分散型かつ効率的なエネルギーシステムの導入を誘導 ○都市機能が集積しエネルギーを高密度で消費する拠点地区において、複数街区にまたがる面的ネットワークの整備によるエネルギーの自立化・多重化など、地域特性に応じた災害時の業務機能などの継続に資する整備を誘導 ○大規模災害発生時におけるターミナル駅周辺の滞留者等の安全確保に資する退避施設、備蓄倉庫、情報伝達施設等の整備を推進
	<p>〔特定都市再生緊急整備地域〕 渋谷駅の機能更新と周辺都市基盤の再編を契機に、魅力ある商業、業務、文化・交流機能の充実を図るとともに、次世代による先進的な生活文化等の世界に開かれた情報発信拠点を形成</p>			

地域整備方針

(東京都)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
池袋駅周辺地域	<p>〔都市再生緊急整備地域〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○都市計画道路の整備や駅施設及び周辺市街地の再編を契機に、駅前広場、東西連絡通路の整備により、回遊性・利便性の高い歩行者中心のまちに都市構造を転換するとともに、商業・業務・芸術・文化・交流・情報発信機能等の集積する拠点を形成 ○駅周辺においては、老朽建築物や細分化した敷地の統合など、街区再編の推進と併せて、歩行者ネットワークや緑の創出を図るとともに、造幣局跡地を活用して、防災公園の整備と併せた連鎖的な開発により、木造密集市街地の改善を図るなど、駅周辺の防災性の向上と連動して、地域全体の防災対応力を強化 <p>〔特定都市再生緊急整備地域〕</p> <p>池袋駅及び周辺市街地の都市基盤の再編と併せて、文化・芸術等の育成・創造・発信・交流等の機能の充実・強化を図るとともに、魅力ある商業、業務機能等を集積し、国際アート・カルチャー都市を形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○駅及び周辺市街地の再編に併せて、バスターミナルや駐車場等の公共施設を整備するとともに、駅前広場や歩行空間の拡充により、ユニバーサルデザインに配慮した駅周辺の交通結節機能の強化を推進 ○既存の劇場等の文化施設や道路・公園等の公共空間とも連携し、芸術・文化の情報発信・育成・交流・産業支援機能、にぎわいを強化する商業機能を積極的に充実・強化 ○国内外からの来街者の多様な活動・交流を支える観光支援・宿泊機能等の充実・強化 ○駅周辺では、老朽建築物や細分化した敷地の統合などの街区再編の推進により業務・商業機能の更新を図るとともに、防災公園整備と併せた木造密集地域の改善を図る連鎖的な開発の実施や既存ストックの活用等により、多様で持続的な地域活動・コミュニティの形成を支える居住・生活支援機能の強化 ○造幣局跡地において、文化・交流機能（教育・研究）の整備促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○都市計画道路（環状5の1号線・補助81号線等）の整備を契機に、駅前広場の改良等により、駅周辺の自動車交通の転換を図り、安全・安心の歩行者空間を創出 ○駅施設や周辺市街地の再編に併せて、地域の回遊性、乗換利便性、防災性の向上を図る歩行者ネットワークの形成を促進 ・駅の東西を連絡する地下通路の拡幅・整序 ・地下通路と地上部との連続性・一体性の確保 ・駅と周辺市街地との回遊性の向上と地域の防災力を高める東西連絡通路等の整備 ・建築空間等を活用した上下移動が容易な動線の確保 ○都市開発事業と併せて、駅前広場を再編し、バスターミナル・駐車・駐輪・荷捌場施設などの整備を促進 ○乗換利便性の向上や分かりやすい動線の確保を図るとともに、ユニバーサルデザインに配慮した、安全で快適なターミナル機能を強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○池袋駅中心地区においては、街の玄関口にふさわしい、個性ある美しい都市空間の形成を促進 ○木造密集地域においては、従前の居住機能の確保及び周辺市街地の都市環境や街並みとの調和、建物の形態・色彩など、良好な都市景観の形成等に十分配慮し、都市開発事業や既存ストックを活用したリノベーションを促進 ○駅周辺においては、まちづくりの取組みと防犯対策の連携・協働により、安全・安心で魅力ある繁華街の再生を促進 ○公民連携によるエリアマネジメントにより、公的空間の管理・運営、まちのにぎわいや魅力を発信する取組を推進 ○都市開発事業において、敷地内・屋上・壁面緑化等により、ヒートアイランド対策を誘導 ○都市開発事業における建築物等の高断熱化・省エネルギー化等により、地球温暖化対策を誘導 ○都市開発事業において、未利用エネルギーの活用、自立・分散型かつ高効率なエネルギーシステムの導入を誘導

		<p>○震災等に対応できる都市防災機能の強化 この際、人口・機能等が特に集積する大規模ターミナル駅周辺において都市防災機能の一層の充実</p>	<p>○地域に点在する文化・芸術資源をいかし、情報発信や国内外からの来街者が楽しみ、地域の人々と交流することができるにぎわいのある公園・広場等の整備を促進</p> <p>○造幣局跡地において、地域全体の防災力強化のため防災公園の整備を推進</p> <p>○公共的空地や道路沿道の緑化、遮熱性舗装などの実施により、ヒートアイランド現象の緩和を推進</p>	<p>○都市機能が集積しエネルギーを高密度で消費する拠点地区において、複数街区にまたがる面的ネットワークの整備によるエネルギーの自立化・多重化など、地域特性に応じた災害時の業務機能などの継続に資する整備を誘導</p> <p>○大規模災害発生時における駅周辺の滞留者等の安全確保に資する退避施設、備蓄倉庫、情報伝達施設等の整備を推進</p>
--	--	---	--	---